

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

高森荘からの情報発信 ウィズ

vol.52



2024.12/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: f0720@amber.plala.or.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏



ある日の高森荘

育成会交流会

今年の育成会交流会はコロナ禍も少し落ち着いてきたため5年ぶりに地域の小学生をお招きし開催することができました。

今年は小学生の皆さんと一緒に風鈴作りを行いました。皆さん思い思いに素敵な風鈴を作ることができました。また会の終わりには小学生に車いす体験をしていただきました。

久しぶりに小学生と交流ができ、いつも以上に利用者の皆さんが生き生きとし、笑顔が多く見られたと思います。猛暑の中お集まりいただいた皆様、本当にありがとうございました。

駐車場等整備工事完了

4月から約半年間を要した駐車場等整備工事が完了する。メインは未整備となっていた駐車場の舗装化、南側全体の勾配解消と門扉設置、加えて既存アスファルトと各所

段差の改修。目的は、事故防止、防犯対策、バリアフリー化などサービスマ環境の改善。新設車庫を活用し晴天の焼肉会を久し振りに開催しました。長年計画案にご協力を頂

いた(株)鈴木建築設計事務所の原参事様、猛暑の中各種業務を貫徹された神稲建設(株)の皆様、現場監督伊久間様には心から感謝申し上げます。



感染症研修会



感染症対策委員会では感染症に対する知識や技術を深めるために下伊那厚生病院感染症認定看護師の中山秀明さんを講師に定期的に研修会を行っています。

今回はO-157やノロウイルス等の感染症による嘔吐の吐物処理を実践形式で学びました。

施設での吐物処理は方法によつては感染を拡大させてしまうため正しい処理が大切です。「作業者自身が感染しない」「汚染を広げない」「消毒は確実に行う」というポイントで学びました。これからの流行時期に備えていきたいと思えます。

祝!! 障がい者文化芸術祭入選

第27回長野県障がい者文化芸術祭が開催され、13名の利用者が書道作品と工芸作品を出品しました。その中で幾嶋市郎さんの「栗」と書いた書道作品が優秀賞を受賞しました。

自治会で表彰式を行い幾嶋さんの良い笑顔が見ることができとても嬉しく思います。来年も良い作品を期待し、創作活動の支援に取り組んでいきたいと思えます。



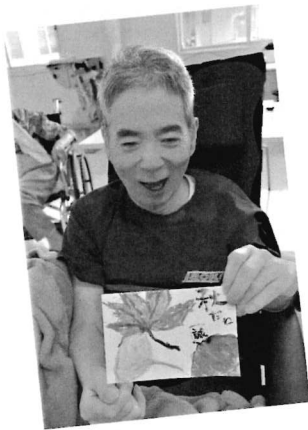
絵手紙

今年度から、筆で遊ぼう会では絵手紙のレクを開催しています。保護者の方より、絵手紙のハガキと教本をいただき、描く前に皆で読みながら線の練習をしました。

夏はキュウリ・トマト・花、秋は栗紅葉の葉っぱなどの実物を用意し、手に取りよく見ながら描きあげていきました。輪郭の線や色塗りは、筆やペン、自分の指で絵具を塗るなど、それぞれのやり方で個性のある作品が出来上がりました。

完成後は廊下に展示、希望者は、保護者の方やご友人宛にメッセージを添えてお送りし喜んでいただけました。色とりどりの作品が並び、とても明るい気持ちになれました。

筆を持ってない方も、職員が手を取りながら一緒に描き、



絵を完成させることが出来ました。また、普段の書道のレクだと「字が書けないから」という理由で不参加の方もいたのですが、「絵なら描いてみたい」と初めてレクに参加された方が何名かいました。多くの方がレクに参加して楽しめるよう、今後も続けていきたいと思っています。

焼肉会



利用者の皆さんからの感想は「アツかった!!」

気温もグツと上がり10月だというのに30度越えの暑さ。焼肉も熱かったが駐車場のアスファルトも熱かった。

コロナ感染対策の影響で大規模な集まりが難しかったここ数年でしたが、ようやく入所・通所の利用者の皆さん、また職員が一緒になって食べる事ができるイベントが実現できました。

炎天下の中でしたが、新しく完成した駐車場に焼肉の匂いが漂うと、暑さを忘れて楽しむことができました。

摂食嚥下研修会

6月9日に健和会病院で行われた摂食嚥下研修会に参加しました。研修では完全側臥位法をエビデンスに基づき学びました。咽頭の模型を使用し嚥下障害の人の食べ物はその様に食道まで運ばれていくのかを学び、その後実践形式で完全側臥位法の姿勢の作り方を学びました。研修で学んだ完全側臥位法はまだ対象になっている利用者の方はいませんが、様々な研究で誤嚥を防止できるという結果が出ていることから今後医師から完全側臥位法で食事をする指示が出る可能性は十分に考えられます。その時に即座に対応できるように今回の研修での学びを日頃の支援にも活かしていきたいです。



生産活動

生産活動の現状報告 (上半期) ~前年度との比較~



落花生 収穫体験の様子

開所から28年続いた授産施設から支援施設に体系移行して早12年。生活介護における作業提供という状況下で、従来の「高齢化、障害の重度化」や「新型コロナウイルス等の影響」に加え、今年4月からの「物流2024年問題(働き方改革)」で作業量が激減されました。しかし作業を希望される声は大きく、今後は「委託加工」に加え「農福連携」を検討中です。

2024年 6月~12月 行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



530運動



水害移送訓練



育成会交流会



秋祭り



地震総合防災訓練

5/29 530運動

6/12 水害移送訓練

8/7 育成会交流会

8/26 夏季 火災避難訓練

9/20 水害移送訓練

10/10 地震総合防災訓練

11/14 秋祭り



夏季 火災避難訓練(深夜想定)



秋祭り

アルプスサーモン

11月6日、高森町商工会名物料理研究委員会の皆さんがアルプスサーモンを届けて下さりました。

今年アルプスサーモンの唐揚げのあんかけと、つみれをいただきました。つみれは綺麗なサーモンピンクをしており秋のお膳にぴったりでした。

利用者さん達は、鮭とは味が違う、アルプスサーモンの方が美味しいと大好評でした。



ありがとうございます

公益社団法人日本非常食推進機構様より消毒液のご寄贈をいただきました。

これから寒くなるにつれ感染症流行期を迎えるため有効に活用させていただきます。この度は誠にありがとうございました。



編集後記

上半期を振り返ると、地域の皆様との交流が再開し、行事も全利用者が一室に会し行うことができました。また、日中は他事業所へ通われる方もいて、徐々にコロナ禍以前のような生活に戻りつつありうれしく思います。引き続き利用者の方々が希望を持ち、心豊かな暮らしができるよう支援していきたいと思っております。

● 11月14日～11月27日
飯田短期大学 介護実習 2名
実習・研修の受け入れ